

平成24年度決算

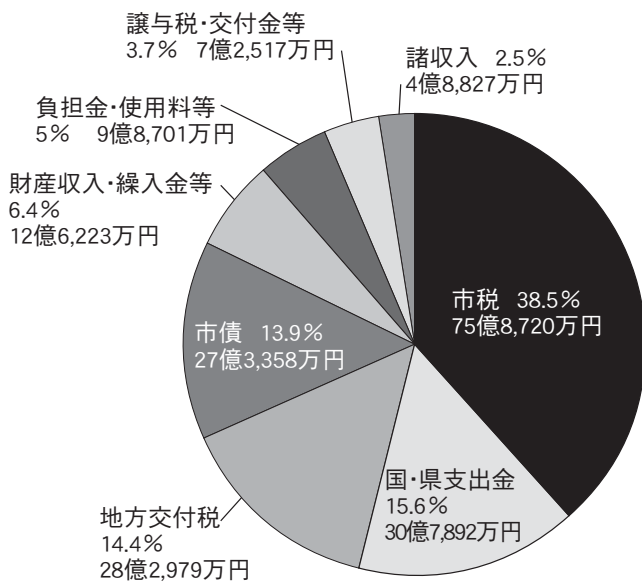
やすの家計簿

市では1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業をしているのかを市民の皆さんにお知らせしています。今回は平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の決算の状況について説明します。

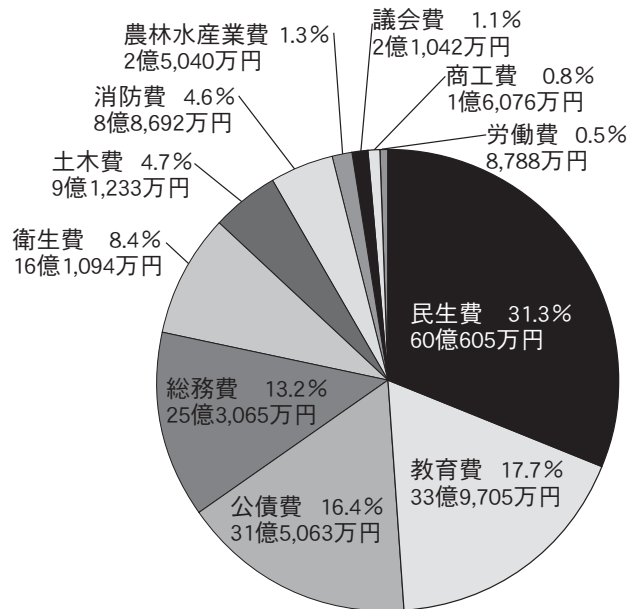
◆問い合わせ
財政課
☎ 587 - 6069
FAX 586 - 2200

平成24年度の一般会計決算

歳入総額 196億9,217万円 (対前年比96.3%)



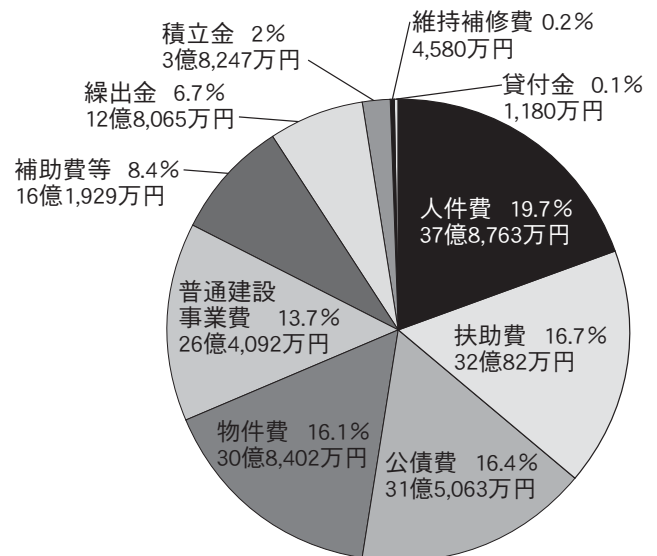
歳出総額 192億403万円 (対前年比97.0%)



◆市税の内訳

項目	金額
市民税	34億1,052万円
固定資産税	37億5,564万円
たばこ税	3億2,256万円
軽自動車税	9,848万円

性質別歳出



用語解説

市 税	市に納められる市民税や固定資産税などの税金
市 債	市が公共事業等を行うための財源として金融機関などから借り入れたお金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対する財源として国や県から入る補助金などのお金
地方譲与税・交付金等	国税や県税などの徴収金の一部を、市に譲与または交付されるお金
負担金・使用料等	学校給食費、保育所の保育料、市営住宅使用料など利用・使用に係るお金
財産収入・繰入金等	市有地の貸付収入や預金利子、基金（積立）からの取り崩しなどのお金
諸収入	貸付金元利償還金、賠償保険金などのお金



平成24年度の特別会計決算

会計名	予算額	収入済額	支出済額	差引
国民健康保険事業	48億6,642万円	49億3,028万円	47億4,070万円	1億8,958万円
後期高齢者医療	4億1,908万円	4億1,390万円	4億463万円	927万円
介護保険事業	30億499万円	29億6,330万円	29億600万円	5,730万円
地域医療振興資金貸付事業	2,468万円	2,468万円	2,468万円	0万円
下水道事業	23億5,335万円	23億3,577万円	22億9,900万円	3,677万円
墓地公園事業	2,924万円	3,358万円	2,691万円	667万円
基幹水利施設管理事業	1,316万円	1,316万円	1,316万円	0万円
工業団地等整備事業	20億259万円	20億261万円	20億258万円	3万円
土地取得	990万円	990万円	990万円	0万円
水道事業 ※収益的収支を計上しています	収入：8億 228万円 支出：7億9,991万円	7億9,448万円	8億193万円	745万円

基金（貯蓄）と市債（借金）

■基金（貯蓄）の現在高

財政調整基金	9億1,418万円
減債基金	2億325万円
特定目的基金	19億9,040万円
地域振興基金	14億2,200万円
公共施設等整備基金	1億9,302万円
その他特定目的基金	3億7,538万円
定額運用基金	5億1,193万円
土地開発基金	5億793万円
その他定額運用基金	400万円
計	36億1,976万円

(年度末現在高)

■市債（借金）の現在高

一般会計	272億6,083万円
下水道事業	122億5,664万円
工業団地等整備事業	18億6,750万円
土地取得	12億5,000万円
水道事業	22億2,636万円
計	448億6,133万円

(年度末現在高)

「基金」と「市債」

基金や市債は、施設の整備など、一度に多額の財源を要するときに必要なもので、いずれも世代間の負担の公平性と年度間の財源の調整を図る機能を持っています。



市民一人当たりへ支出したお金 37万8,077円 <一般会計>

※平成25年3月31日現在の人口50,794人で、市民1人あたりの各支出金額を計算しています。

◎総務費

4万9,822円/人

企画、選挙や自治振興など

- 北部合同庁舎の施設整備
- コミュニティセンターの運営
- 自治会活動助成
- 固定資産税評価替調査
- ものづくりインストラクター養成スクールの運営
- 野洲駅南口周辺整備の検討



北部合同庁舎内
野洲図書館中主分館

◎衛生費

3万1,715円/人

健康増進、母子保健や廃棄物処理など

- 地域医療体制整備補助
- 各種がん検診、健康相談
- 予防接種事業
- 野洲クリーンセンター管理運営
- ごみ処理・し尿処理
- 新クリーンセンターの施設整備



新クリーンセンター完成予想図

◎消防費

1万7,461円/人

消防や救急業務、防災対策など

- 湖南広域行政組合（消防事業）負担金
- 消防団活動
- 災害対策事業
- 野洲市総合防災センター・東消防署の施設整備



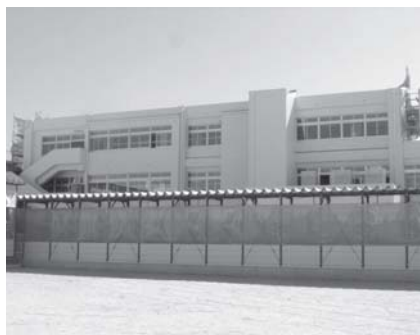
総合防災センター・東消防署

◎教育費

6万6,879円/人

学校教育・社会教育の充実、文化・スポーツの振興など

- 篠原小学校改築などの施設整備
- 小中学校・幼稚園管理運営
- 特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒への支援
- 学校応援団事業



篠原小学校校舎

◎土木費

1万7,961円/人

道路、公園や市営住宅の建設・管理など

- 道路維持工事（市道市三宅小南線ほか）
- 市営住宅維持管理
- 土地区画整理事業の推進
- 野洲駅周辺都市基盤整備
- 雨水対策事業

◎公債費

6万2,028円/人

施設整備などのために借りたお金の返済金

◎民生費

11万8,243円/人

児童、高齢者、障がい者福祉の増進など

- 障がい者自立支援事業
- こども園の施設整備
- 学童保育所の運営
- コミュニティバスの運行（新路線追加・無料乗継制度）
- 公立保育所の運営・民間保育所への運営委託
- 生活保護費の支給
- 福祉医療費の助成
- パーソナルサポートサービスモデル事業

◎その他

1万3,968円/人

議会運営、就労支援、農林水産業の振興、観光や商工業の振興など

- 就労支援・勤労者福祉対策
- 緊急雇用創出特別推進事業
- 青年就農給付金事業
- 米粉スイーツ活性化事業
- 中小企業融資対策事業

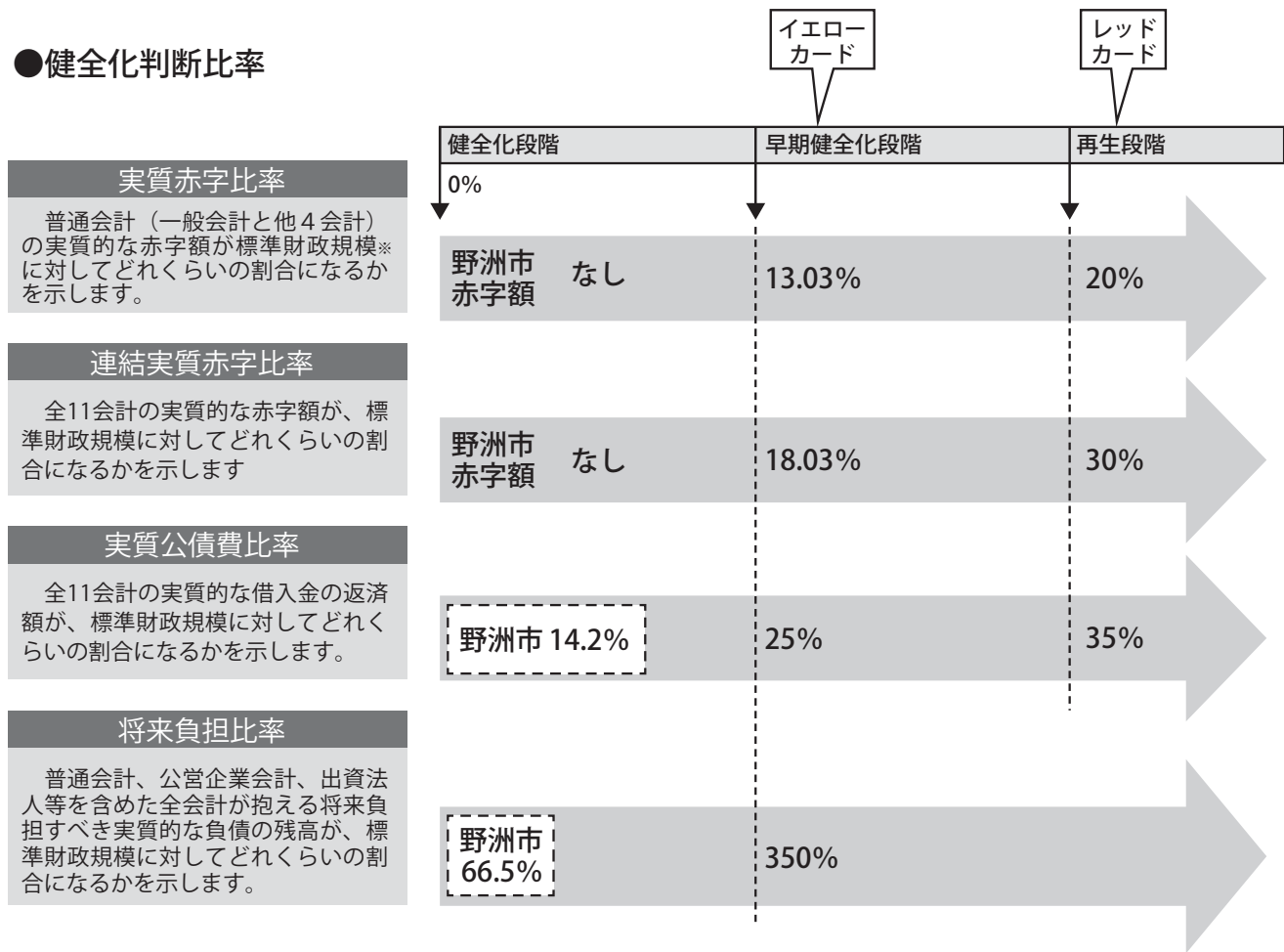
野洲市の財政健全化判断比率などの状況（平成24年度決算）

「健全化判断比率」とは、財政状況が悪化しているかどうかを判断するための指標で、下表に掲げる4つの指標があります。また、このほかに、水道事業などの地方公営企業の経営状況を判断するための指標として「資金不足比率」があります。

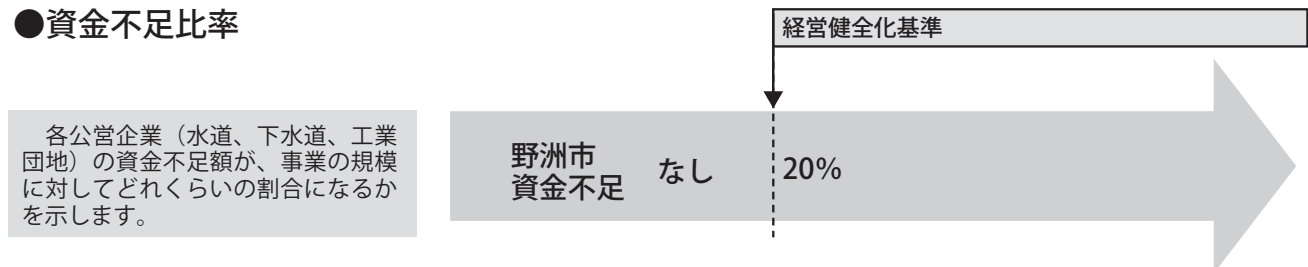
これらの指標のうちひとつでも基準を超えた場合には、早期健全化または財政再生等の計画の策定が必要となります。

本市では、実質赤字比率および連結実質赤字比率はなく、実質公債費比率および将来負担比率のいずれも財政悪化のイエローカードを示す早期健全化基準未滿であるため、健全な水準を維持しています。

●健全化判断比率



●資金不足比率



※標準財政規模・・・

市税と交付税などを合計した額で、市が通常収入することができる規模とされています。一般のサラリーマン家庭に置き換えると、「給料」にあたります。

◇「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の詳細については、総務省ホームページ <http://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/kenzenka/index1.html> をご覧ください。